

CITATION: Ooi CP, Loke SC. Sweet potato for type 2 diabetes mellitus *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2013, Issue 9. Art. No.: CD009128. DOI: 10.1002/14651858.CD009128.pub3.
CRG名: Cochrane Metabolic and Endocrine Disorders Group.

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 20 February 2013
Clib issue No.; N/U: 2013 Issue 9; Update

アブストラクト

背景: サツマイモ (*Ipomoea batatas*) は、最も栄養価の高い亜熱帯および熱帯野菜である。2型糖尿病の伝統医療にも用いられている。動物およびヒトモデルにおける研究では、血糖管理におけるサツマイモの役割が示唆されている。

目的: 2型糖尿病に対するサツマイモの効果を評価すること。

検索戦略: コクラン・ライブラリ(2013、第1号)、MEDLINE、EMBASE、CINAHL、SIGLEおよびLILACS(すべて2013年2月まで)など、いくつかの電子データベースの検索とともにハンドサーチも行った。言語は限定しなかった。

選択基準: 薬理的または非薬理的介入の有無にかかわらず、サツマイモとプラセボまたは対照物質による介入を比較したランダム化比較試験(RCT)を選択した。

データ収集と分析: 2名のレビューアが独立して試験を選択し、データを抽出した。ランダム化、割りつけの隠蔽化、盲検化、アウトカムデータの完全性、選択的報告及びその他のバイアスの原因を評価することによって、バイアスリスクを検討した。

主な結果: 3件のRCTが選択基準を満たした。これらの試験では、計140例の参加者を対象とし、試験期間は6週間から5カ月の範囲であった。3件の研究すべてが、同じ試験実施者により実施されていた。全体として、これらの試験のバイアスリスクは不明または高かった。すべてのRCTが、2型糖尿病における血糖管理に及ぼすサツマイモ製剤の効果をプラセボと比較していた。サツマイモ製剤4 g/日摂取により、3~5か月目のグリコシル化ヘモグロビンA1c(HbA1c)値がプラセボと比べて統計学的に有意に改善した(平均差-0.3%(95%信頼区間-0.6~-0.04)、 $p=0.02$ 、参加者122例、2試験)。重篤な有害作用は報告されなかった。糖尿病性合併症及び罹病率、全死因死亡、健康関連QOL、福祉、機能的アウトカムおよび費用は検討しなかった。

レビューアの結論: 2型糖尿病に対するサツマイモ使用の効果についてはエビデンスが不十分である。試験方法の改善に加え、他のサツマイモ品種の使用も含め製剤の標準化および品質管理の問題にも対処する必要がある。臨床診療における何らかの推奨事項を導き出すためには、サツマイモの効果を評価する観察試験およびRCTをさらに実施する必要があるだろう。

平易な要約(Plain language summary)

2型糖尿病に対するサツマイモ

サツマイモ (*Ipomoea batatas*) は、熱帯および亜熱帯にみられる植物であり、最も栄養価の高い熱帯および

亜熱帯野菜でもあります。サツマイモは、アジア太平洋、アフリカおよび北米の国々では料理用として人気が高く、糖尿病治療の伝統薬としても活用されています。そこで、サツマイモが糖尿病の治療法として役立つかどうかを示すことを目的とした医学的試験から得られたエビデンスは十分であるかどうかを検討することにしました。ランダム化比較試験を対象とした本レビューでは、2型糖尿病に対するサツマイモの効果を偽薬(プラセボ)との比較で評価した研究が3件(参加者計140例)のみ認められました。これらの研究はすべて、研究の質がきわめて低いものでした。参加者計122例を対象とした2件の研究では、グリコシル化ヘモグロビンA1c(HbA1c)により測定した血糖値の長期代謝コントロールが改善したことが示され、HbA1cは、3~5か月にわたり1日4 gのサツマイモ錠を摂取した被験者で、0.3%と中程度に低下しました。治療期間は6週間~5か月の範囲でした。糖尿病性合併症、全死因死亡、健康関連QOL、福祉、機能的アウトカムまたは費用を検討した研究は認められませんでした。有害作用は大部分が軽度であり、腹部膨満および疼痛が報告されました。用いられているサツマイモ品種およびサツマイモ製剤はさまざまでした。多様なサツマイモ製剤の品質を評価すること、および糖尿病患者の食生活における多様なサツマイモ品種の使用についてさらに評価する必要があります。

(監訳 曾根 正好)

翻訳公開日: 2014年 10月 10日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。